

会報 しんせき 第50号

平成28年2月5日

発行責任者

新関コミュニティ協議会
会長 瀬戸範彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



年末から続いていた暖冬傾向、もしかしたらこのまま雪もなく春を迎えてしまうのではと喜んだり心配したりでしたが、突如大雪となりました。1月23日から降り続いた雪、秋葉区では24日までの24時間では49cmの降雪量を記録（小口では1m近くにも）。短時間に降り積もった雪は除雪が間に合わず県内はもちろん日本全国で交通網は大混乱。沖縄でも雪が降ったと言いますから驚きです。

こんな中、新関コミセンや小学校の駐車場はきれいに除雪されていました。除雪業者の皆様に感謝しております。

今回の大雪も一段落？ 2月2日は久しぶりの陽光に、おひさま保育園の園児が元気に雪遊びを楽しんでいました。

もう2月。節分、立春：春が待ち遠しい今日この頃です。

新関コミュニティ協議会は今年度の大きな行事もほぼ終わり、活動の成果や課題などを評価しながら次年度の計画を検討しております。

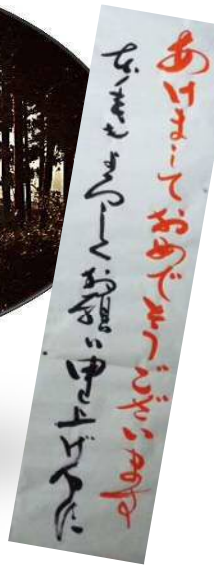


平成28年元旦

カーテンの隙間がなんとなく明るいの気づき、「ご来光を拝めるかも」とあわててデジカメを手に外に出てみました。

東の空、から初日がのぼり、新関平野には神々しいばかりに光が差し込んでいました。

「今年は何かいいことありそうな」そんな期待を抱かせる素晴らしい光景で何回もシャッターを切りました。が、所詮は素人。まともなものなし。



新年にふさわしい行事が今年もたくさん行われました。小学校の「全校書き初め大会」、少年野球の「新春餅つき大会」、毛筆に親しむ会の「書き初め」、お茶の間では、保育園児を招い

ての「手品」と「かるた大会」。参加者は気持ちを新たに臨んでいました。



少年野球：新春餅つき大会



新関小学校：新春書初め大会



毛筆に親しむ会：書初め



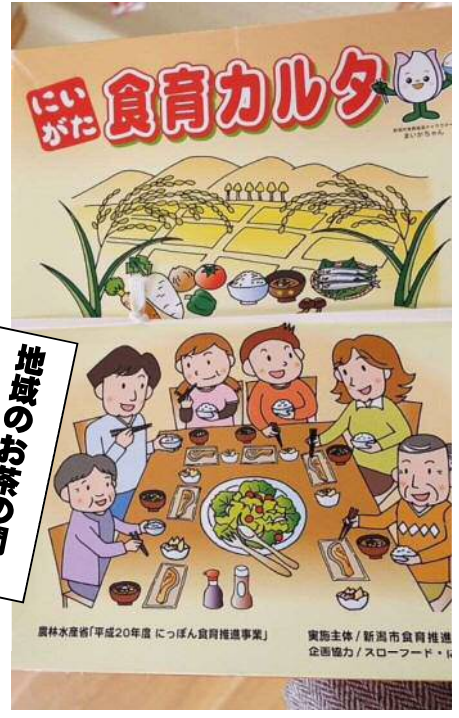
コミセンに展示された児童の力作



おひさま保育園児：目玉真剣



新春手品・かるた大会



学習発表会(生活科・総合)

- 1・2年生：野菜の育て方・昔の遊び
- 3年生：小口の茶・大岡岡田などの柿
- 4年生：しんせき夢マップを使った地域学習
- 5年生：学校田でのコメ作り体験とコメの歴史や種類等
- 6年生：いろいろな仕事の人と触れ合う中で、新関の未来や自分の未来を見つける
(詳細は、小学校の「六花(学校便り)」をご覧ください。)

新関小学校では、毎年1月の学習参観日に「生活科」と「総合的な学習の時間(略して…総合)」の発表会を行ってきました。今年も素晴らしい学習の成果を発表し、参加した保護者や地域の人に感銘を与えてくれました。

学年が進むとコンピュータを使った発表や資料づくりとなり驚きました。まとめ方、発表の仕方、とりわけ発表の中身のすばらしさに驚かされます。五感を通しての新しい発見、驚き、感動、それらを今後にどう活かしていきたいのかが伝わってきました。

さらに付け加えると、常に感謝の気持ち(先人や地域の大人に、文化や自然などに)をもって学習に取り組んだ姿がよく分かりました。



- 「理想の新関」**
- ・ 農業と祭りでにぎあう街
(実咲、心々、雄大、陸人)
 - ・ 便利で笑顔があふれる街
(桃香、有優、陽世、快飛、碧)
 - ・ 観光で人が集まる街
(有希、大輝、祥太、愛可)
 - ・ みんなが笑顔になる公園の街
(心、恭平、夢姫、ちひろ)



土田チイさんに表彰状

社会福祉功労者表彰

地域の社会福祉活動に貢献



表彰者を代表して謝辞を述べる土田さん

土田チイさんは、新関コミュニティ協議会福祉健康副部長として長年にわたり新関地域の福祉活動に貢献されたことが認められ、今回の表彰となりました。（1/23秋葉区文化会館で行われた秋葉区社会福祉推進フォーラムの席上で表彰）

ご承知のように新関コミュニティ協議会福祉健康部は、新関地域の「お茶の間」を中心に「敬老会（七夕福祉の集い）」の企画運営など多岐にわたって活動しています。また、コミ協の行事遂行に当たっては、縁の下の力持ち（ボランティアグループ）としてなくてはならない存在です。【今回の表彰は、部長の傳田カズさんに続く2人目となります。】

秋葉区 * わっての地域の活動紹介



* 新関コミュニティ協議会 *

どんなところ？



- 設立：平成18年2月
- 世帯数：500
- 地域の概要：
 - ・新関は新潟市の南に位置し隣は五泉市です。
 - ・かつての新関村は分村合併で8つの地域が新潟市に編入されました。
 - ・そして平成17年、新潟市は「平成の大合併」が行われ新潟市も新潟市に合併されました。

「笑顔いっぱい・元気いっぱい・夢いっぱい」の地域をめざして！

- 安心安全な地域づくり
- ふるさとソングと夢マップづくり
- 新関地域のお茶の間運営
- 世代間交流事業の推進
- 文化的行事の発表・研修の資質向上
- スポーツを通じた健全育成

広報紙「会報しんせき」



今年創立10周年を迎えました。この間平均年5回余の発行でまもなく50号をむかえます。写真を多く取り入れ、見やすい・理解しやすい・読んでもらえる会報にすべく努力しています。

自主防災活動



平成22年に自主防災組織を結成し活動を続けてきました。今年には3年前に設定した「新関地域の防災の日」に合わせ、目標であった地域住民全世帯による一斉の避難訓練「リボンによる安否確認訓練」と「家族防災会議」を実施する事ができました。

「しんせき夢マップ」を作りました！



ふるさとソングを作りました！



ふるさとソング完成発表会

一 滑き流の 早出川は
わがし流の 舞いまはる
日差しを受けて 水ぬるみ
鮎が群がり 釣竿しなう
笑顔いっぱい 心がはるむ
ああ新関 わがふるさと

二 九十九曲がり 能代川は
今じゃ川重も 広がって
夏の花火が 煙気楼
散華ジョギングサイクリング
元気いっぱい 足取り軽く
ああ新関 わがふるさと

三 天下の大河 阿賀野川は
水は濁々 霧の降る
宝珠・五頭山 従えて
秋のみのりの 車みまほし
夢いっぱい 日本海へ
ああ新関 わがふるさと

四 祖先が築いた 豊かな里は
朝日輝く 緑世界
緑の西線 希望乗せて
結後・金津を 結んで走る
力いっぱい 明日に向かう
ああ新関 わがふるさと

作詞 新関コミュニティ協議会 作曲 藤原正英
編曲 寺尾敬誠 歌 榎木利衣 振付 S/N

秋葉区役所などで各コミ協の活動がパネルで紹介されました



かつての新関村は、10の地域でしたが、町村合併で8つの地域となり阿賀野川・早出川・能代川に囲まれた肥沃な土地が広がっています。西側の秋葉丘陵には、かつては縄文人が住んだ遺跡があり、自然豊かな歴史文化の薫る地域です。

一方、水害に悩まされた苦難な地域で先人の苦勞がしのべられます。しかし、かつてを知る人も高齢となり、この機を逸すると偉大な遺産を語り継ぐ者が絶えてしまうことになります。

私達はこの状況を真剣に受け止め、新関の歴史や文化、自然風土、先人の知恵を後世に語り継ぐ資料にしたいとマップづくりに取り組みました。

マップ完成後は、当地を探索する人や新関小学校の地域学習などに利用され喜ばれています。